



	アドミッション・ポリシーとは
定義	各大学が当該大学・学部等の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、入学を受け入れるための基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学習成果(学力の3要素※)を示すもの。※ (1)知識・技能、(2)思考力・判断力、表現力等の能力、(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

本学の「アドミッション・ポリシー」

学校全体	<p>1.保育・医療・介護に携わる職業に就くことを、強く希望する者。</p> <p>2.得意なものがあり、これを保育・医療・介護に役立てたいと願う者。</p> <p>3.本学のカリキュラム、教育方針を理解している者。</p> <p>4.将来、地域の保育・医療・介護に貢献したいと強く希望する者。</p>
こども未来学科	<p>こども未来学科は、専門職としての知識・技術を身につけた保育士を養成する学科です。とりわけ、未来を担う子ども達の健やかな成長発達を援助する役割は大きく、広い視野を持ち、心豊かな保育士の育成を目指しています。</p> <p>入学者受け入れの方針、求める学生像</p> <p>①保育士に必要な知識・技術を積極的に学ぼうとする人</p> <p>②子どもを心から愛し寄り添い、子どもの発達について学ぼうとする人</p> <p>③専門職についての理解を深め、自覚とプライドを持てる人</p> <p>④仲間と共に目標に向かって根気強く努力をすることができる人</p> <p>⑤心身ともに健やかで明るく前向きな人</p> <p>⑥ボランティア活動を通して地域社会に貢献できる人</p>
介護福祉学科	<ul style="list-style-type: none"> ・慎重に考慮しながら行動できる学生 ・柔軟な発想をし、進んで困難や課題に取り組む学生 ・人のかかわりを大切にし、地域社会に貢献したいと考える学生 ・生涯をとおり、探求心を持って介護福祉を学び続けられる学生
柔道整復学科	<p>求める学生像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療に就き、将来、地域の医療分野で活躍したいと希望する人を育成 ・知的好奇心が旺盛で、課題に向かって主体的に行動できる人 ・多様性を理解し受け入れ、独自性を大切にする人
作業療法学科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作業療法士になりたいと積極的に希望する人 ○ 人間に対する関心が高く、人の生活を楽しく豊かにすることに興味関心がある人 ○ 人の話を傾聴する姿勢や親しみやすい人柄などの人間性と、高い責任感、使命感、科学的思考や探求心をもった人 ○ 入学後、医学的知識基盤をもつ必要性から生物などの理系科目をしっかり学ぶ姿勢のある人 ○ 社会と倫理に関心をもち、専門職を通して社会に貢献する意欲のある人
理学療法学科	<p>高等学校までの教育課程で国語、数学、理科、社会などの基礎知識をしっかりと身に付けた学生の応募を期待します。基礎知識自体はもちろんのこと、基礎知識を習得する過程で養った思考力、集中力、持続力などが本学科での専門科目の習得過程で役立ちます。</p> <p>学校で学ぶ上記の基礎知識以外の科学、スポーツ、健康、芸術、国際社会など幅広い分野に興味を持つ、知的好奇心の旺盛な学生の応募を期待します。本学科で学ぶ内容は、限られた時間の中で、医療に関係する基礎・専門知識及び専門技術が中心となります。しかし、それらの知識や技術は社会に還元され、広く受け入れられることを目的とします。単に専門知識を習得しただけでは、その領域外の需要に的確に応えられず、社会の変化や進歩に追いつけなくなります。物事を鳥瞰的に捉えられる視野の広さと柔軟性は、質の高い医療従事者を目指す上で重要な資質となります。</p> <p>自分のためだけではなく誰かの役に立ちたいという人間愛、豊かな人間性と厳しい倫理観を有する学生の応募を期待します。他者への共感、相手の悩みや苦しみをそしてそれを乗り越えた喜びを、自分のこととして捉えられる鋭い感性と想像力こそ、医療を志す者の原点となります。厳しい臨床の現場では常にこれらの資質が問われます。</p> <p>自己の目標達成のために、やるべき課題を自ら見つけ出し、最後まで丁寧にやり抜く強い意志と忍耐力を有する学生の応募を期待します。また、その目標達成過程では、他の学生や教員との円滑なコミュニケーション能力が問われます。実技演習、国家試験対策など共同学習での積極的な参加が求められます。そして、そこで涵養されたコミュニケーション能力及び他者との協力関係構築の経験は、医療従事者として働く場面で、患者の評価・治療、又は他職種と連携して行うチームアプローチに生かされます。</p>